

# どろんこ

2023年1月19日(木)

675号

船橋市職労福祉支部

発行責任者 村上はつみ



# 総務部長交渉 副市長交渉

昨年末12月27日(火)602会議室で、総務部長交渉が行われました。

今までのアンケート等で、各園の状況や困っていること等書いてもらった中から抜粋して、吹き出しに書き込んだタペトリーを作成し、交渉に臨みました。

総務部長は会場に入るなり、それを見て、保育園の状況の厳しさを感じ取ってくれたようですが、一向に改善されない事への不満等、ぶつけました。

保育園の問題は、とにかく人が足りないことに起因しています。

前号にも書きましたが、有休取得平均日数が、保育園を除く市長事務部局で、14.7日。保育園は7.6日。

有休が取りにくいのも人が足りないから。

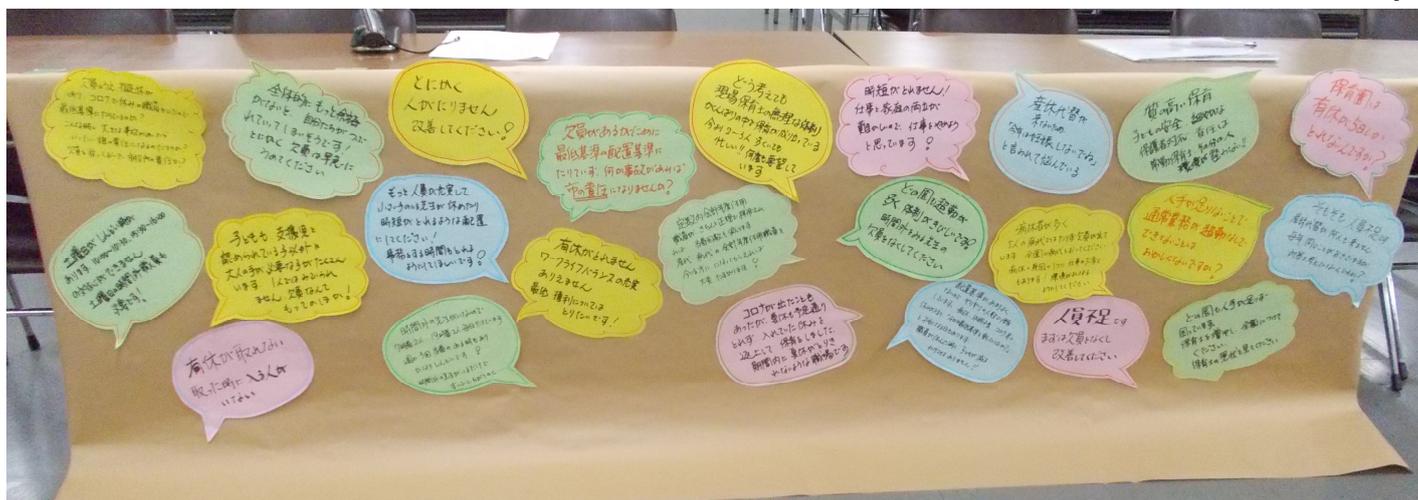
時短も、代わりに入れる人がい

ないために、取りたくても取れない。保育応援の超勤が多い。病休者が増えているが、代替がいない。

そこにコロナによる職員の休みが重なる、7人・8人と職員が足りなくなる日もあり、「今日は最低基準に達していたのか？」と心配になる日もありました。そんなときに、何か大きな事故があったら、人をきちゃんと配置しない「市」の責任になるのではないかと訴えました。

まずは、欠員にならないように、産代・病代・支援児加配等の配置をきちんとする事。しかも、同じ事を何年も言っているのに、「市」も工夫することをこちらに要求するだけでなく、自分たちも工夫して、採用を増やしたり、子どもを減らしたり等検討してほしいものです。

副市長交渉は、1月17日(火)13会議室で行われました。同様に、タペトリーを貼り、放課後ルームの人員不足の状況も伝わるようにし、「欠員が出ない採用」を訴えました。(詳細は次号で)





第54回

全国保育団体合同研究集会

合研in高知



感想

2022年8月20日(土)、21日(日)

☆ どの講座も具体的な例を挙げて説明して頂いたことで、自分の経験したものと結びつけたり、想像したりしながら受講することができました。

特に印象に残った講座は、「夢中になって遊び込む保育を」です。なぜ集団遊びをするのか、話し合いが大事なのか等、日々なんとなくやっていたことの意味を再確認することができました。

また、悩んでいるのは自分だけでは無いということを知ることができて安心しました。

この講座で学んだことを活かし、今後も学び続けなくてはいけないと感じました。今後も、子どもを一番に考えた保育ができる様に学んでいきたいです。  
(西船 Fさん)

☆ 講座がとても参考になりました。

“夢中になって遊び込む保育を”では、子どもの意思表示の場を作り、安心して自分の思いを表現できる環境を作ることが大切であると感じました。互いに思いを受けとめ合えるようなクラス作り、大人の関わり、大事にしていきたいです

“「気になる子」が変わるとき”では、「かけがえの無い自分」を感じる大切さを知りました。十分に受けとめられる関わり方ができたらと思っています。つい困った行動に目が行ってしまいがちですが、その子の別の面を見ようとする視点を持っていきたいです。

(湊町 K)

☆ 講師の方々の実体験を元にした事例等が有り分かりやすく、楽しい講座でした。

「夢中になって遊び込む保育を」の講座では、遊び込む事で学びが生まれること、特に“学びの手段にされると面白さを失う”という言葉に深く共感をしました。自分も日々の保育で、遊びを手段にしていた場面があったと思いました。「あそぶ」ということが難しく重要であることを改めて感じることができました。

『「気になる子」が変わるとき』の講座では、困った行動の場面でどのような状況なのかや、それらが起こらないときの状況を振り返ることを、自分はまだきちんと行えていないと思いました。今まで以上に関わりの中で見ることや情報共有が大切だと学びました。

(海1 Kさん)

☆ その場に行けなくても、配信で学べるのは良かった。以前参加した実技の研修は楽しかったので、また、実技の講座に参加したいと思いました。

(湊町 Yさん)

☆ 自分のタイミングで見る事ができたので、良い機会になった。

もう少し、時間があるともっと詳しく見れたかなと思います。(湊町)